

英語科学習指導案

日時：平成26年10月8日（水）5校時

学級：葛巻町立小屋瀬中学校 第1学年

（男4名 女5名 計9名）

場所：1年教室

指導者：教諭 川畑三重子 John Robertson

1 単元名

Program 7 Dilo the Dolphin (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、前単元で主人公の由紀が夏休みにイギリスに旅行をするが、その内容に関連している。

由紀がイギリスから持ち帰った子供向けの絵本をクラスの皆に見せ、主人公のDiloとその友人である双子の姉弟を紹介する内容である。それぞれの登場人物についての説明と由紀の気持ちが述べられる。さらに、人なつこいイルカの話から、イギリスにおけるイルカ・ウォッチングとそれが行われる時期を話題として扱う。名前や関係、行動するときをたずねたりするのに必要な表現を教科書を通して学び、実際に運用できる力を養う。

(2) 生徒について

生徒は2つの小学校からきていて、1年生らしく明るく元気に英語の学習活動をしている。小学校で英語に触れてきているため、中学校で習う語句や文法の中には「どこかで聞いたことがある」という反応が多い。一方少人数ながらも、個々の知識量と処理能力に大きな差がみられる。下位の生徒には机間巡視で個別指導や休み時間や長期休業を利用して支援する必要がある。

「聞く」「話す」活動を好み、反面「書く」活動は苦手としている。「書く」ことを克服させるには、口頭練習や問題練習を十分に行ったりすることで、音声と語順を結びつけ、根気強く書く活動に取り組ませたい。

(3) 指導について

新学習指導要領では「コミュニケーション能力を養う」ことが最重要の目標とされている。その他に、①言語や文化に対する理解を深めること、②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ることもあげられていて、この2項目はコミュニケーションを養うために必要不可欠なものであり、相互に関連している。本単元は、イギリスに興味を持たせるとともに、疑問詞 who, when を使った応答文の運用や、代名詞の目的格 him, her や既習事項の3単元のsを使って人を紹介したり、クイズを作ったりするなど積極的にコミュニケーションを図りたくなるような場面設定を工夫したい。また、イギリスについては、2年前のロンドンオリンピックのことや、スコットランド出身のALTから様々な情報を得ながら、英語の本場である国に親近感を持たせたい。

3 単元の目標

- (1) 自分達の紹介したい人物について聞き手に伝わるように説明する。
- (2) ペアやグループで間違いを恐れずに積極的に話す。
- (3) 疑問詞 who や when を用いた文の構造を理解する。
- (4) 代名詞の目的格 him, her を用いた文の構造を理解する。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語知識・文化に関する理解
グループやペアワークにおいて、間違いを恐れずに積極的に話そうとしている。	自分達の紹介したい人物について聞き手に伝わるように説明できる。	※この観点では評価しない。	疑問詞 who, when を用いた文の構造を理解している。 代名詞の目的格 him, her を用いた文の構造を理解している。

5 指導計画 【全7時間】

(1) 疑問詞 who の理解とそれを用いた文の練習をする	1 時間
(2) 由紀がイギリスから持ち帰った本を話題として英文の読み取りをする	1 時間
(3) 目的格の代名詞 her, him の理解とこれらを用いた文の練習をする	1 時間
(4) 由紀がイギリスから持ち帰った本を話題とした英文の読み取りをする	1 時間
(5) 紹介したい人物について説明するクイズをする	1 時間(本時)
(6) 疑問詞 when の理解とこれを用いた文の練習をする	1 時間
(7) イルカ・ウォッチングやイルカと人との関係を話題とした英文の読み取りをする	1 時間

6 本時の指導

(1) 本時の目標

紹介したい人物について、クイズにして、聞き手に伝わるように説明する。【表現】

(2) 研究主題との関わり

前単元で、3単現の s を使った人物の説明を学習しており、また前時に疑問詞 who と代名詞目的格 him, her の使い方を学習している。本時は既習事項を使って人物について説明する内容を再度取りあげる。自分達が興味関心のある人物をクイズにして聞き手に伝わるように説明するために、本校研究の2つの手立てを次のように取り入れて生かしていきたい。

- ・「考えを整理するワークシートの活用」

自分の考えをまとめたり、授業を振り返ったりするためにワークシートを活用する。

- ・「考えを補い合う話し合い活動の工夫」

3人もしくは2人のグループを編成し、人任せにせずわからないところを自由に聞き合い、話し合える場とする。

これらの手立てにより、生徒が言語活動を通して思考・判断し、表現できる力が身につくと考える。

(3) 具体の評価規準

評価規準	具体の評価基準		C：支援を要する 生徒への手立て
	A：十分に満足している	B：おおむね満足できる	
自分達が紹介したい人物について聞き手に伝わるように説明できる。【表現】	自分達が紹介したい人物について聞き手に伝わるように4～5文で説明できる。	自分達が紹介したい人物について聞き手に伝わるように3文で説明できる。	語句や表現のヒントを与えて、ペアでの活動を支援する。

(4) 学習過程

	学習内容・学習活動	支援・留意点	評価(◎) 研究に関わる手立て(☆)
導入 5分	1 あいさつ 2 前時の復習 3 学習課題の把握	・テンポよく進める。 ・積極的に活動に参加させる。	
	自分が紹介したい人についてクイズを作り、聞き手に伝わるように発表しよう ～来年の1年生に人物当てクイズをビデオにとって残そう～		
展開 35分	4 クイズ作成 (1) ALTによるモデルを聞き、形式を知る。 (2) 個人でマッピングをしながら紹介したい人物について、3～5文で作成する。 (3) ペアで、よりよい内容にするために吟味する。 (4) 作成したクイズを教師にチェックしてもらう。 (5) クイズを暗記し、よい発表にできるようペアで練習する。 5 クイズ (1) グループを作り、各ペアのクイズを出題する。 (2) グループ内で、発表の仕方について評価し合う。	・生徒に明確なゴールを意識させる。 ・既習事項で作成できるレベルで考えさせる。 ・机間巡視をしながら生徒の状況を把握する。 ・ペアで協力して、よりよい英文となるよう話し合わせる。 ・ヒントカードを与え、生徒同士で補いあって解決させる。 ・時間があれば、2人目にも取り組ませる。 ・発表に向けて、良い点や改善点について互いにアドバイスをさせる。	☆自分の考えを整理する。 (ワークシートの活用) ☆ペアで補い合い、ワークシートにまとめる。(ワークシートの活用・話し合い活動の工夫) ☆教師から指摘されたところをペアで補い合う。 (話し合い活動の工夫) ☆ペアで発表の仕方について補いあい、よりよい発表にする。(話し合い活動の工夫)
終結 5分	6 本時の振り返り 7 宿題と次時学習予告 8 あいさつ	・ワークシートに記入したものを数人発表させる。	☆振り返り (ワークシートの活用)